

5 現在のチツソはどうなっていますか？



チツソ製品

チツソ株式会社は、本社を東京におき水俣工場のほか千葉県や岡山県に工場を持っています。チツソ水俣工場の主な製品は、液晶、保存料、保湿剤、化学肥料、合成樹脂などです。従業員は約500名を数え、今でも水俣では主要な企業です。

チツソは水俣病の原因企業として大きな賠償責任を負っています。1975年（昭和50）以降経営が悪化し補償金の支払いなどができなくなるおそれが出てきたため、1978年（昭和53）から2000年（平成12）まで熊本県が県債発行を通してチツソへの金融支援を行ってきました（貸付総額約2,600億円）。しかし、チツソは借りたお金を返すことが難しくなったので、2000年（平成12）2月から、借りたお金の一部はチツソが払えるようになるまで待ち、その間は国がチツソに代わって毎年払うことになりました。

チツソには、患者への医療や生活の補償を続ける責任があります。また、水俣病の原因企業として、二度と同じような過ちが起きることがないように、社会に対して働きかけていくことも求められています。